

- 194 -

4 おわりに 以上、河口域内の水位は、河口砂州、潮汐、貞山堀閘門により影響されることがわかった。導流堤地点の水位特性は、七北田川と導流堤の間の地形の変化が起これば変化するものと思われる。本研究を行うにあたり、東北学院大学工学部職員 高橋宏氏、水理研究室の本年度および卒業生の諸氏に、観測、資料の整理に多大にお世話になった。また、運輸省第二港湾建設事務所塩釜港事務所からは、貴重な潮位の資料を、宮城県七北田ダム管理事務所からは河川流量の資料をお借りした。ここに記して、お礼申し上げます。参考文献 1 田中・伊藤・首藤:七北田川における河口地形変化と水理特性、海岸工学論文集 Vol. 37, pp. 334-338, 1990.

表－1 仙台港との日最大水位差の比の年平均値

河口			導流堤			貞山堀			4150m		
砂州形状	大潮	小潮	砂州形状	大潮	小潮	砂州形状	大潮	小潮	砂州形状	大潮	小潮
閉塞		0.126	閉塞		0.126	閉塞		0.789	閉塞		0.114
A	0.555	0.541	A	0.452	0.526	A	0.706	0.825	A	0.554	0.551
B	0.533	0.623	B	0.469	0.578	B	0.623	0.773	B	0.545	0.680
C	0.536		C	0.488		C	0.683		C	0.554	

